

# あいめーる

SPRING

愛隣館通信

平成 30 年 4 月 25 日発行 〒861-0551

発行 熊本県山鹿市津留 2022

社会福祉法人 愛隣園 TEL 0968-43-2771

障害者支援施設 愛隣館 FAX 0968-43-2793

発行責任者 三浦貴子 http://aileans.com

編集 広報チーム E-mail

キャリアピジョン ailinkan@magma.jp



食堂にて:30周年を迎えられた入居者の皆さん

## 愛隣館開設三十周年記念会

障害者支援施設 愛隣館は、昭和六十三年四月一日身体障害者療護施設「愛隣館」としてスタート。このたび設立三十周年を迎えました。

四月二日(月)、愛隣館食堂に於いて、愛隣館開設三十周年記念会を行いました。

三浦貴子館長の挨拶では、愛隣館三十周年への感謝、開設当初の思い出や、入居の方が国家資格取得された時の喜びと、無限の可能性を感極まりながら話されました。

引き続き、三浦牧子名誉理事長より、入居の方々と共に重ねた年月を懐かしむ、お言葉をいただきました。

三十年を共に歩んで来られた入居者布施房子、巖延子、久留信子、荒木陽子、大野澄男、熊本潔、福原隆博、西島俊昭、杉山伸一、鶴崎さおり、松島至史、山品聡美、築地新文字、阿南志穂(敬称略)及び職員(三浦貴子、中村武光、辻啓司、田中裕一、吉田裕子、梅崎美智子(敬称略))の紹介がありました。

三十年を共に迎えられた入居者の方々と勤続職員へ記念品が贈られました。

その後、自治会長の永田勝利さんより乾杯のあいさつがあり、三浦一水理事長もかけつけて頂き、和やかに会食が行われました。



30年勤続職員：三浦・中村・辻・田中・吉田・梅崎



館長 三浦貴子

春号 平成三十年四月二日は、松任谷由美さんの曲「A N N I V E R S A R Y」が心の中を流れる三十周年の一日でした。「一人残される♪」ことなどどんな時も無く、利用者、スタッフの皆さんと共に「今日の記念日」を迎えられたことを、ありがたく噛みしめています。利用者の方々には勇気を頂き、スタッフには支えて頂いて、本当にありがとうございます。

平成三十年 一いめーる 愛隣館通信  
三十年を共に過ごしたご利用者と私たちスタッフは、愛隣館が人生の約半分以上となりました。出会いは皆若くて気づきませんでした。出たとしてもないご縁を頂いていたのかもしれない。つつがなく内祝を終えた深夜、三十年永年入居者のお一人、布施さんの訃報が病院から。ご回復は難しい状態と伺っておりましたが、布施さんは、一緒に三十周年を迎える日まで頑張っておりましたように感じました。お声や、言葉や、喜ばれたこと、怒られたこと、食事へのご注文など、様々な思い出をスタッフと語りながら葬送させて頂きました。

八十五才。旅行から帰ると「愛隣館が一番！」とよく言って下さいましたね。いつも「そこにある愛」を目標にしましたが、布施さんから頂いたものの方が大きかったことに気づきました。

三十周年記念日を迎え、これまで愛隣館をつないできて下さった皆様に心から感謝を申し上げます。如己愛人の理念を貫き、静かに歩み続けたいと思います。

バレンタイン家族報告会

ケア課チーフ 古川 和代

平成二十九年度バレンタイン家族報告会が、二月十日（土）に行われました。

あいにくの天気となり、当日は、足元の悪い中ではありましたが、三十五家族(四十九名の出席をいただきありがとうございます。

報告会では、施設長から情勢報告、サービス管理責任者等から各部報告と続き、年間の愛隣館の活動を御理解いただけたと思っております。

その後の会食

では、新規入所された石井達也さんのお父様よりご挨拶をいただきました。和やかな雰囲気の中、ご利用者様、ご家族の方とスタッフがお話しさせていただき、より一層質の高い支援を提供し、



利用者の方に心添わせていきたいと思ったところです。

これからも、ご家族のご理解・ご協力をいただきつつ、利用者の方の生活を、微力ながら支えさせていただきます。と思っています。

救急法講習会

看護課 中尾 百合子

三月六日（火）と二十日（火）、ティールームにて、職員全員を対象にした救急法講習会を行いました。はじめに、救急法ガイドラインに沿って救命救急に関し、一次救命処置（心肺蘇生、AEDを用いた除細動、気道異物除去）の説明を行いました。

次に、心肺蘇生練習用人形を使い、実際にケアスタッフに心臓マッサージと人工呼吸、AEDによる心肺蘇生の方法を体験してもらいました。

緊急時には、救急隊がかけつけるまで心臓マッサージや人工呼吸を行うことは、その後の様態を左右する大変重要な処置であり、参加した職員は、場



面を想定しながら真剣に取り組んでいました。  
今回学んだことを、各部で振り返りを行い、「いつでも、誰でも」救急法ができるよう役立てていきたいと思えました。

AEDの設置場所①愛隣館医務室入口②愛隣倶楽部③ぴあハウス

★ 新しい仲間



愛隣倶楽部

中島 龍也

一月から愛隣倶楽部を利用しています中島龍也です。他の日はびあびあや、回生病院のデイケアへ通っています。

趣味は将棋と絵を描く事です。スタッフや他の利用者の方の名前がまだ分かりません。早くみなさんの名前を憶えたいと思っています。

春になったら愛隣館の周りを散歩したいと思っています。まだまだみな様に迷惑をかける事もあるかと思いますが、よろしくお願いします。

★ 実習を通して

九州看護福祉大学 社会福祉科

たらいち  
父母 悠太

こんにちは、二月七日(水)から三月九日(金)

まで実習をさせていただきました。九州看護福祉大学社会福祉科の父母悠太(たらいちゆうた)と申します。

愛隣館での実習は、職員や利用者の方々から学ぶことが多く、毎日が日々勉強で充日した一日一日を送りました。大学で学んだ知識を実習で活用しようとしてきましたが、うまく活用できた場面と想定外の事が起きたり、うまく対応できない場面があったりと現場に出てみないと分からないことが多くあり、痛感しました。

愛隣館では、相談業務から介護など幅広く実習させて頂いており、これから様々な立場に立った支援のやり方について学習していきたいです。また利用者の言葉や職員の方のアドバイスを大事にし、充実した実習を送れるようにしていきたいと思っています。



● 節分豆まき

ケア課 永田 清美

みなさんこんにちは、二月三日(土)、愛隣館食

堂にて豆まきがおこなわれました。

入居者で年男の大野さん、池田(智)さん、堤さん、前田さん、石井さんと一緒に「福の神」として幼少期を思い出しながらステージに上がりました。

入居者の方と一緒に健康でありますように願いを込めて「鬼は外、福は内」と元気な掛け声で豆まきをしました。

初めてだったのでとても緊張しましたが、年女として、皆さんと参加出来ていい経験になりました。ありがとうございました。

● 天草日帰り旅行

ケア課 渡辺 仁美

二月六日(火)、天草日帰り旅行に入居者の池田(智)さん、築地新さん、平野さんの三名と職員四名で参加させて頂きました。インフルエンザの流行や、寒波の影響で、前日まで行く事が出来るかわかりませんでした。利用者の願いが届き出発する事が出来ました。



昼食は、天草の新鮮なお魚を刺身や丼で頂きました。皆さん美味しそうに食べられていました。藍の天草村では、お土産を何にするか悩んでおられました。試食をしながら気に入った物を大切な人に購入されていました。



雪もちらほら舞つ中で、楽しんで頂けるか心配でしたが、皆さん思い思いに笑顔で楽しまれて、私も楽しい一日を過ごさせて頂きました。

### 地域福祉部報告懇談会

三月六日(火)午後二時より愛隣倶楽部にて、平成二十九年愛隣館地域福祉部報告懇談会が開催されました。

当日は、地域福祉部それぞれの利用者・ご家族と多数の参加でした。まず、館長からの挨拶、新年度からの障害福祉サービスの情勢説明、生活介護事業所愛隣倶楽部、生活介護事業所デイケア、ホームへ

ルプ部、相談支援事業所、就労移行支援事業所、あわワーク、地域活動支援センター、あびあびあ、多機能型ホーム、あハウス・ぴあハウス、昭利町、短期入所事業所、日中一時支援事業所の各事業所からは、二十九年度の事業報告がありました。



その後、各部に分かれての質疑応答では、参加された方から、活発なご意見ご要望が聞かれました。

### 第四十三回ノA植木まつり

一月二十日(土)～二月十九日(月)熊本県農業公園カントリーパークで開催された植木まつりに二月十三日(火)、参加者は洲上さん、西部さん、久留さん、寺田さんの四名と職員四名で行って来ました。

参加された久留さんにお話を伺う事が出来ました。

「今回初めての参加になります。会場は広々として、見る所が多くてビックリしました。色々見て回り目に付いたのがキンセンカの苗でした。外出した

時は、珍しいものを食べたかったので、昼食はイモ天にダゴ汁を食べました。とても良かったので次回も参加したいです」と楽しそうに話してくれました。



### お知らせ

● 部屋替え  
三月二十七日(火)から二十九日(木)、入居者の部屋替えが行われました。ご面会時は事務部へおたずねください。

● 法人理事会報告  
三月三十日(金)愛隣の家にて理事会が開催され、平成三十年度の事業計画及び予算の承認をいただきました。

『あいめーる』の企画・編集は利用者で構成された広報チーム、キャリアビジョンが担っています。